



なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

一日一日を大切にしてお有意義な夏休みを！

校長 菅原 和子

各地で色とりどりの「アジサイ」の花を見かけます。梅雨のこの時期に咲く花。本校でも雨が降るたびに美しさを増しています。

先日行われました土曜参観には、たくさんの保護者の方々にご来校いただきありがとうございました。学習活動や掲示された成果物などから、日頃お子様が頑張っている様子を感じ取られたことと思います。



さて、江戸時代の儒学者である新井白石のエピソード「一粒の米」があります。ご存知の方もいらっしゃるのではないかと思います。新井白石が子どもの頃、父親から言われたことです。米びつから米を一粒取っても、入れても量の変化は変わらない。一日勉強したから利口になるわけでもない。一日怠けたから愚かになるわけでもない。しかし、1年、2年と続けていれば必ず変化が見えてくるという内容です。夏休みの期間は40日ほどですが、夏休みの過ごし方も同様ではないでしょうか？得意な学習を伸ばす。苦手な学習を克服する。家の手伝いを決めて継続する。朝、起きる時間を決めて規則正しい生活を続けるなど何か続けられるものを見つけ、この夏休み中に続けられるものに取り組んでほしいと思います。この夏休みに続けられれば必ず得るものがあるはずですが、継続できるものは、夏休みが終わっても続けられるとさらに素晴らしいと思います。

梅雨が明ければ夏本番。子どもたちが何よりも楽しみにしている夏休みです。しかしながら、この時期、子どもにかかわる海や山の事故、交通事故、熱中症により重篤な状態に陥る等、残念ながら毎年日本各地で発生しています。また、ここ3年間、コロナ禍でいろいろなイベントなどにも行くことができませんでしたが、5類に移行され行動制限が緩和されたこともあり、感染の心配もあります。いろいろ考えると心配が尽きませんが、旅行先等、日常と異なる環境にある際は、十分に注意をしてほしいと思っています。また、感染症予防では、これまで身に付けてきた規則正しい生活を維持してほしいと思っています。そして、有意義な夏休みを送り、夏休みの経験が、8月28日からの学校生活をさらに充実させるきっかけや原動力になりますようお願いいたします。

まだ、行っていない学年もありますが、5月から6月にかけて、遠足、校外学習、宿泊体験学習等行われてきました。友達と関わることでの「学び合い」。本物と出会い、体験等の実感を伴うことで「人」「もの」「こと」の関わりを通して子どもたちの学び合う姿が見られるようになってきています。自然に親しんだり協力して取り組んだりするなか、子どもたちの「学び合い」が価値ある学びにつながるように教職員一同、これからも取り組んでいきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、7月も本校の教育活動にご理解ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。